

日時: 令和8年1月19日(月)午後6時～

場所: 青森市総合体育館 多目的室

(仮称)新青森市屋内グラウンド整備について

(仮称)新青森市屋内グラウンド整備に係る住民等説明会 資料

目 次

1. (仮称)新青森市屋内グラウンド整備の概要	1
2. コンセプトについて	9
3. 規模・機能について	11
4. スケジュールについて	19
5. 整備手法について	21

(仮称)新青森市屋内グラウンド整備

1. 整備の概要

(第1回及び第2回有識者会議資料より抜粋)

(1) 整備の概要及び有識者会議について①

【整備の概要】

盛運輸サンドームは、市全域が特別豪雪地帯に指定されている本市において、一年を通して天候に左右されずに利用できる、青森地域唯一の屋内グラウンドである。当該施設は、平成4年2月のオープン以来、野球、サッカー、グラウンドゴルフなど、例年17万人を超える方々に利用されており、本市として、重要な施設のひとつとなっている。

令和6年9月16日、共同経営・統合新病院の整備場所に関し、知事と市長が会談を行い、浜田中央公園・県営スケート場周辺を整備候補地とすることで合意し、このことに伴う課題解決のための具体策の中で、

○統合新病院の整備により移転が必要となるサンドームについては、青い森セントラルパーク地区に移転整備することを基本とすること

○サンドームを含む市有施設の移転や整備等の費用については、県が市に協力すること

と整理されたほか、令和7年3月28日に策定した「共同経営・統合新病院に係る基本計画」において、

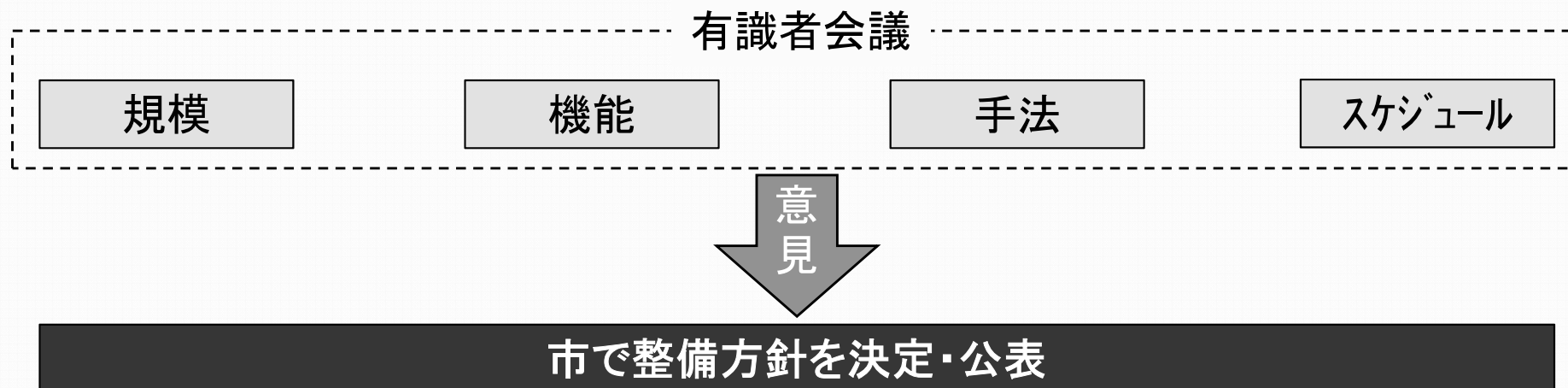
○現在のサンドームについては、代替施設が完成・移転後に解体工事に着手すること
としている。

(1) 整備の概要及び有識者会議について②

【有識者会議について】

有識者会議では、(仮称)新青森市屋内グラウンドに必要な規模、機能、事業手法、スケジュール等についてご意見をうかがうこととし、今年度で5回程度の開催を予定。

本市では、有識者会議でのご意見を踏まえ、施設の規模や機能等を含む整備方針を今年度中に決定し、公表する予定。



月 日	会議内容 ※予定
7月4日(金)	第1回会議(整備概要と会議、現在の施設、操車場跡地の概要を説明)
8月中を目途	第2回会議(利用団体等からの意見聴取)

※上記のほか、年内に3回程度の会議開催を予定

(2) 盛運輸サンドーム（青森市屋内グラウンド）の現状について

【概要】

平成3年に竣工、平成4年に開館し、開館から33年が経過。

開館日：平成4年2月

構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建

敷地面積：15,642㎡

建築面積：7,808㎡

延床面積：8,878㎡

主練習場：5,845㎡

野球、ソフトボール、ハンドボール4面、ゲートボール8面、
サッカー(50m×90m)、陸上競技(200mトラック、80mハードル、
走り高跳、走り幅跳三段跳)、ラグビー(ハーフコート)、

ジョギングコース：1周300m

トレーニング室：187㎡

第一会議室：66㎡(収容人員45人)

第二会議室：59㎡(収容人員40人)

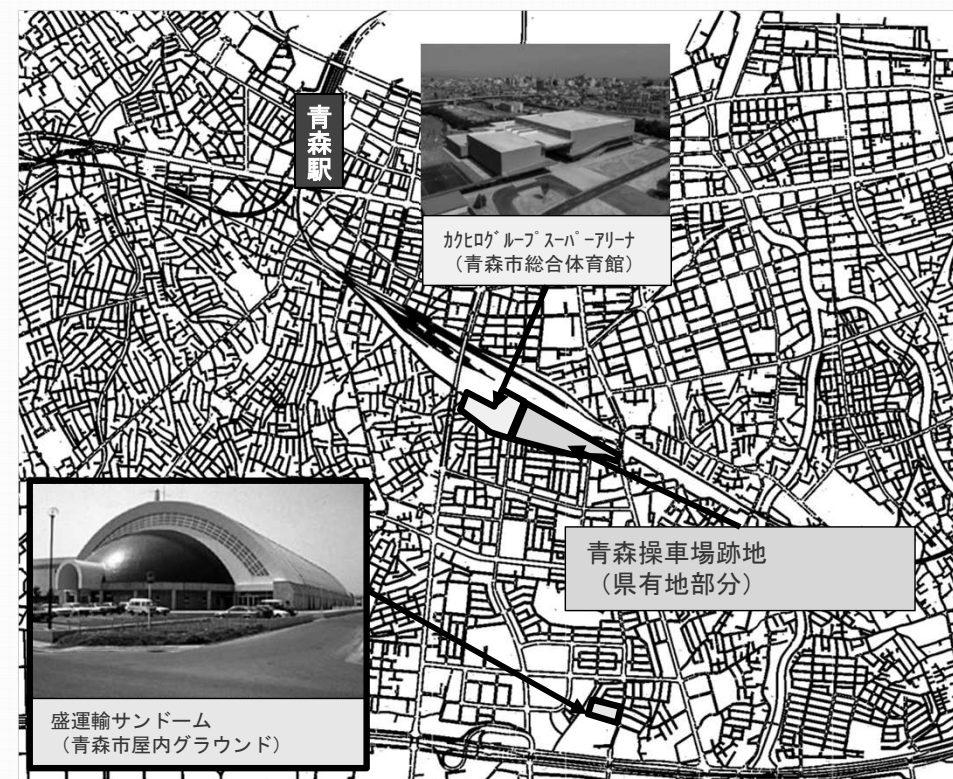
【主な利用】

R6年度競技別利用者割合

○野球	44.4%
○サッカー	29.8%
○運動会	11.1%
○グラウンドゴルフ	7.2%
○その他	7.5%

【利用人数】

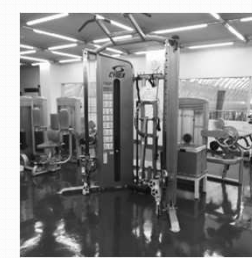
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数(人)	170,099	116,995	100,791	134,895	176,361	176,950



主練習場



ジョギングコース



トレーニング室

(3) 青森操車場跡地の概要

「青森操車場跡地利用計画」(平成31年3月・青森市)より

【土地利用の基本方針】

多様な交通でアクセスできる拠点

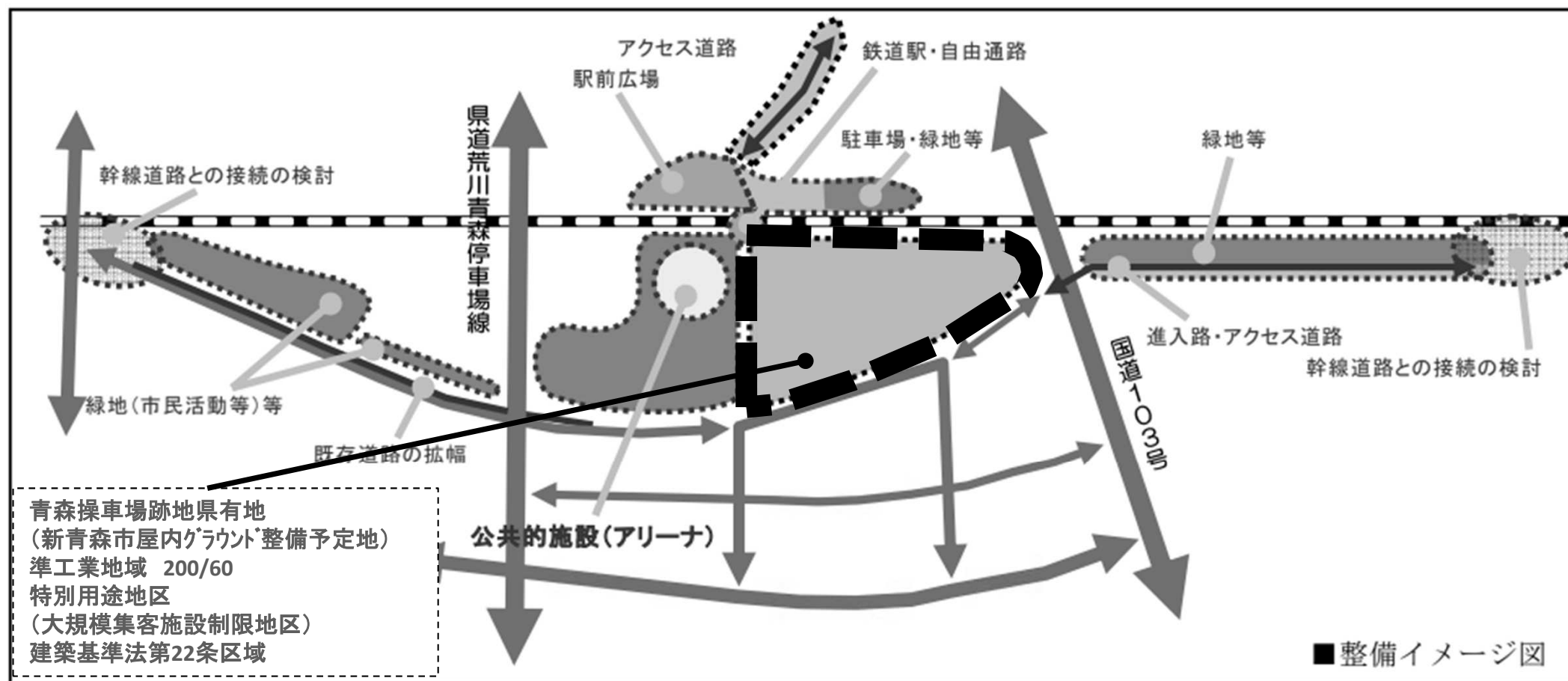
鉄道駅の設置やバス運行等をはじめとした交通環境の整備を図り、鉄道からバス・タクシーへの乗り継ぎや徒歩・自転車・自動車利用といった複数の交通手段をつなぎ、多様な交通でアクセスできる拠点を目指します。

地域の安心を支える緑豊かな拠点

これまでの広場(青い森セントラルパーク)としての機能を踏まえつつ、緑のネットワークを形成するなど快適な空間を創造するとともに、防災機能の強化を図ることにより、地域の安心を支える緑豊かな拠点を目指します。

にぎわいを生み出す健康・交流拠点

アリーナを整備することにより、スポーツを通じて心とからだの健康を育むとともに、多様な催事を通じて利用者の交流を図るなど、にぎわいを生み出す健康・交流拠点を目指します。



(4) (仮称)新青森市屋内グラウンドの検討プロセス(案)

第1回会議
(7月4日)

(仮称)新青森市屋内グラウンド全般に対する概要説明



第2回会議
(8月18日)

利用者等からの意見の整理
必要な施設、規模・機能の絞り込み方の検討



第3回会議
(10月頃)

必要な施設、規模・機能の絞り込み



第4回会議
(11月頃)

整備手法・スケジュール等の検討



第5回会議
(1月頃)

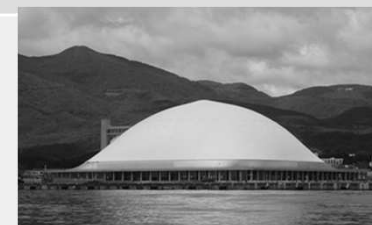
整備方針(案)の提示
(必要な施設、規模・機能(案)等の提示)



整備方針の公表
(必要な施設・主要機能の決定)

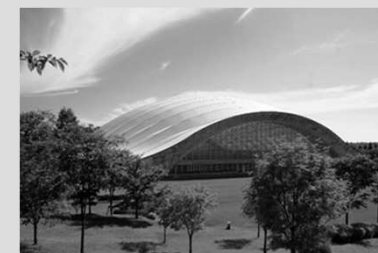
【参考】類似施設について①

NO	名称	屋内グラウンド	その他
1	青森市屋内グラウンド (盛運輸サンドーム) 【竣工年】平成3年	床：土 面積：5,845㎡ 寸法：100m×58m程度 観客席：なし 暖房：移動式のストーブ 冷房：なし	ジョギングコース（300m）、トレーニング室、 会議室（2室）、男女シャワー室、 ロッカー室、駐車場（100台程度） 【利用人数】176,950人
2	つがる克雪ドーム 【竣工年】平成14年	床：土 面積：8,652㎡ 寸法：両翼86.26m 中堅85m 観客席：341席 暖房：移動式のストーブ 冷房：なし	会議室、多目的室、男女更衣室、 駐車場（240台） ※2階周回路をウォーキング場として無料開放 【利用人数】58,565人
3	ひらかドーム 【竣工年】平成15年	床：土 面積：6,211.477㎡ 寸法：70m×70m 観客席：なし 暖房：なし 冷房：なし	ジョギングコース、トレーニングルーム、 会議室（3室）男女更衣室、 多目的シャワー、 駐車場（230台） 【利用人数】46,380人
4	しもきた克雪ドーム 【竣工年】平成17年	床：人工芝 面積：11,729㎡ 寸法：108m×108m 観客席：240席 暖房：なし 冷房：なし	ランニング・ウォーキングコース（400m）、 VIP控室、警備員控室、控室（4室）、 放送室、駐車場（約310台） 【利用人数】92,147人



【参考】類似施設について②

NO	名称	屋内グラウンド	その他
5	県営屋根付きグラウンド (あきたスカイドーム) 【竣工年】平成2年	床：人工芝 面積：8,720㎡ 寸法：116m×81m 観客席：立見席 (1,060㎡) 暖房：移動式ジェットヒーター 冷房：なし	事務室（放送設備室）、会議室、救護室、男女ロッカー、男女シャワー室、多目的トイレ、用具置き場、駐車場（124台） 【利用人数】67,937人
6	大館樹海ドーム (ニプロハチ公ドーム) 【竣工年】平成9年	床：人工芝 面積：12,915㎡ 寸法：両翼90m 中堅120m 観客席：5,040席 暖房：段床とアリーナ床レベルからの温風の吹き出しによる客席部足暖房方式（ボイラー） 冷房：なし	多目的室（3室）、会議室、救護室、応接室、大会役員室、放送室、審判室、ロッカー室（2室）、シャワー室（2室）、ダグアウト（2箇所）、駐車場（604台※隣接する大館市樹海体育館と一部共用）、臨時駐車場（94台） 【利用人数】168,973人
7	仙台市屋内グラウンド (シェルコムせんだい) 【竣工年】平成12年	床：人工芝 面積：13,132㎡ 寸法：両翼91.5m 中堅115.82m 観客席：1,050席 暖房：なし 冷房：なし	集会室（5室）、本部室（2室）、審判控室、男女シャワー室、男女更衣室、多目的更衣室（シャワー、トイレ兼）、多目的トイレ、スケートボードフラットパーク、駐車場（254台、別途バス専用スペース7台） 【利用人数】131,481人



(仮称)新青森市屋内グラウンド整備

2. コンセプトについて

(第2回有識者会議資料より抜粋)

(仮称) 新青森市屋内グラウンドのコンセプト (案)

【コンセプト(案)】

＜課題・ニーズ＞

統合新病院の整備に伴い
現サンドームを移転



＜本事業での対応＞

青い森セントラルパーク地区に
(仮称) 新青森市屋内グラウンド
を整備

スポーツへの参加意欲・関心の向上
(スポーツ振興)



スポ[°]ーツ

誰もがスポーツに
親しめる環境づくり

短命市返上・健康寿命の延伸
(市民の健康づくり)



健 康

市民の主体的な
運動習慣づくり

人口減少・少子高齢化への対応
(交流人口拡大で経済効果を得る)



交 流

多世代・市民が
交流できる屋内グラウンド

(仮称)新青森市屋内グラウンド整備

3. 規模・機能について

(第3回及び第4回有識者会議資料より抜粋)

※14ページから18ページの規模・機能に係る「検討結果(方向性)」欄への記載内容は、有識者会議で議論されたものであり、今後、この議論を踏まえて市として検討を行い、「(仮称)新青森市屋内グラウンド整備に係る整備方針」を策定していきます。

(1) 利用者等からの意見

	対象	意見募集期間	意見募集方法	第2回会議提出 回答件数	第2回会議後 追加件数	合計件数
1	競技団体	R7.7.18～ R7.8.30	メールにより意見募集 (青森市スポーツ協会を通して 意見募集)	11団体(うち5団 体がサンドーム の利用経験なし) 125件	なし	11団体(うち5団体 がサンドームの利 用経験なし) 125件
2	サンドーム利用者 (団体)	R7.7.18～ R7.8.30	メールにより意見募集	5団体 39件	なし	5団体 39件
3	サンドーム利用者 (個人)	R7.7.18～ R7.8.30	サンドームにアンケート用紙と 回収箱を設置して意見募集	16人 55件	12人 48件	28人 103件
4	近隣町会	R7.7.17～ R7.8.30	町会での回覧を通じて 意見募集	35人 46件	46人 57件	81人 103件
5	市民	R7.2.3～ R7.3.3	市のホームページを通じて スポーツ施設について意見募集	368人(うちサン ドーム関係83人) 113件	なし	368人(うちサン ドーム関係83人) 113件
6	有識者会議委員	R7.8.18～ R7.9.8	第2回有識者会議での発言 欠席委員からは会議後聴き取り	—	8人 36件	8人 36件
合計				378件	141件	519件

(2) 規模・機能検討プロセス(案)

【必要な施設、規模・機能の絞込みにあたっての視点(案)】

(1) 必要な施設(諸室)の絞込み

- ①(仮称)新青森市屋内グラウンドのコンセプトに合致するかどうか
- ②利用ニーズが高いかどうか
- ③整備しない場合の影響があるかどうか



(2) 規模・機能の絞込み

- ①利用者の増加に寄与するかどうか
- ②コストが大きすぎないかどうか

(3) 規模・機能の検討結果①

	施設	規模・機能	現状	検討結果(方向性)
1	主練習場 (グラウンド)	必要規模	5,845㎡ (100m × 58m程度)	8,500㎡程度とします。 ※少年サッカー、サッカー、軟式野球、ソフトボールの試合が可能な規模
		床	土	・床については利用の幅が広がることが見込めるため、人工芝とします。
		暖房・冷房	移動式のストーブ1台	・空調設備については快適な利用環境にするため、コスト面も踏まえながら、暖房等の必要性を設計時に検討します。
		備品	サッカーゴール2台他	・競技(大会・練習)に必要な備品については利用頻度を考慮し、備品の種類およびグレードを設計時に検討します。
		その他	—	<ul style="list-style-type: none"> ・照明については適切な明るさの照明を設置します。 ・内装については明るい内装デザインとします。 ・分割できるネットを設置します。 ・ラインのポイントを設置します。 ・観覧席については固定の観覧席は設けず、パイプ椅子やベンチでの対応を設計時に検討します。 ・水道を設置しますが、分割したエリアごとの設置については現在の利用状況や必要性を考慮しながら設計時に検討します。 ・休憩スペースについては空きスペースを活用して椅子やベンチを置くなど、休憩できるスペースを設置します。(観覧スペースとの兼用も設計時に検討します) ・ゴミ庫については必要性を考慮しながら設計時に検討します。 ・グラウンドから外が見えるように窓を設置します。

(3) 規模・機能の検討結果②

	施設	規模・機能	現状	検討結果(方向性)
2	ジョギングコース	必要規模	1周300m 幅2m程度	1周350m程度、幅2.5m程度とします。
		床	ウレタン塗床	・床についてはイニシャルコストと耐久性を考慮しつつ膝に負担の少ない床材とします。
		その他	—	・ジョギングコースと同一階にトイレを設置します。 ・手すりについては現在の利用状況や必要性を考慮しながら設計時に検討します。 ・水飲器を設置します。 ・窓についてはジョギングコースから外が見えるように設置します。
3	トレーニング室	必要規模	187㎡	200㎡程度とします。
		暖房・冷房	空調あり	・空調設備を設置します。
		備品	トレッドミル他	・トレーニング器具の充実を図り、保管場所を確保しますが、設置する器具及び器具庫の大きさについてはコストを考慮しつつ設計時に検討します。
		その他	—	・位置については可能な限り入口から近い位置に設置します。

(3) 規模・機能の検討結果③

	施設	規模・機能	現状	検討結果(方向性)
4	会議室	必要規模	125㎡(66㎡+59㎡)	180㎡程度とします。
		暖房・冷房	空調あり	・空調設備を設置します。
		その他	—	・必要に応じて分割については可動間仕切りで分割できる仕様とします。 ・備品の充実を図りますが、設置する備品についてはコストを考慮しつつ設計時に検討します。
5	ロッカー室・シャワー室	必要規模	100㎡程度 (男50㎡+女50㎡)	コストを考慮しつつ可能な限り現状以上の面積を確保します。
		その他	—	・備品の充実を図りますが、設置する備品についてはコストを考慮しつつ設計時に検討します。
6	トイレ	必要規模	114㎡程度 (男57㎡+女57㎡)	コストを考慮しつつ利用者数等を想定した上で必要な規模を確保します。
		その他	—	・多目的トイレについては必要な数を設置します。 ・便器については洋式便器を設置します。 ・ウォシュレット、便座消毒の設置や幼児等誰もが利用しやすい仕様を目指しますが、具体的な仕様についてはコストを考慮しつつ設計時に検討します。

(3) 規模・機能の検討結果④

	施設	規模・機能	現状	検討結果(方向性)
7	駐車場	必要規模	100台程度	<p>【規模】 駐車場満車による渋滞への対策を含め、想定利用人数を考慮しながら可能な限り現状以上の駐車台数を確保します。</p> <p>【機能】 ・駐車場の雪対策についてはコストを考慮しつつ、融雪と除雪対応どちらとするか設計時に検討します。 ・白線、車止めについては、白線は整備することとしますが、車止めは除雪効率の懸念があることから設置するかどうかを設計時に検討します。 ・位置については可能な限り建物の近くに駐車場を整備します。 ・サンドーム専用の駐車場についてはコストを考慮しつつ、駐車場へゲートを設置します。</p>
8	救護室	—	無し	安心してスポーツに親しめる環境づくりに寄与することから設置します。
9	多目的広場	—	無し	移転先のセントラルパークは県有地であり、県との協議が必要であるが、現状の多目的芝生広場でジョギングや散歩を楽しむ市民が多いことや、イベント開催時等の混雑時に臨時駐車場としても活用できることからニーズはあるものと思われるため、引き続き必要性を検討します。

(3) 規模・機能の検討結果⑤

	施設	規模・機能	現状	検討結果(方向性)
10	体育室	—	無し	移転先のセントラルパークに整備したカクヒログループスーパーアリーナにもある施設であるが、現状予約が取りづらい状況であり、ニーズはあるものと思われることから、役割分担を考慮しながら引き続き必要性を検討します。
11	授乳室	—	無し	子供連れでも安心して利用できる環境づくりに寄与することから、授乳室や授乳スペースなどを設置します。

※規模・機能に係る「検討結果(方向性)」欄への記載内容は、有識者会議で議論されたものであり、今後、この議論を踏まえて市として検討を行い、「(仮称)新青森市屋内グランド整備に係る整備方針」を策定していきます。

(仮称)新青森市屋内グラウンド整備

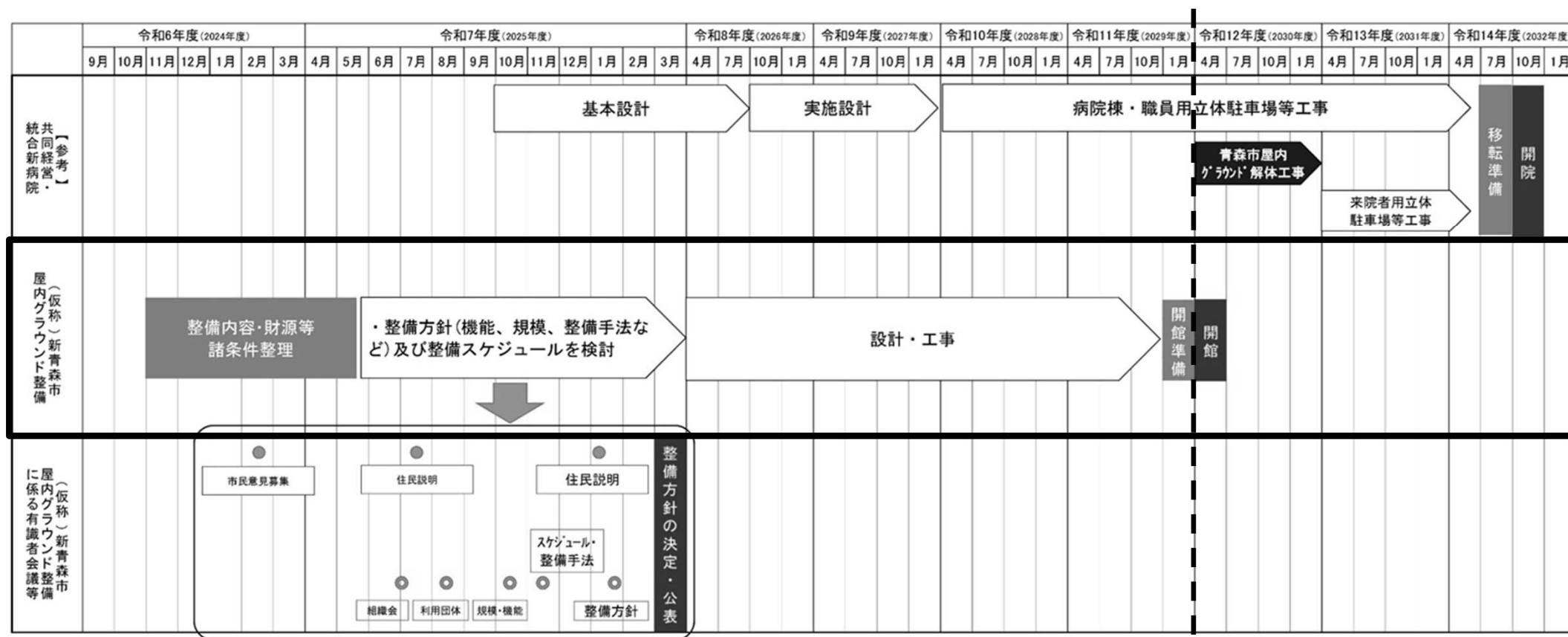
4. スケジュールについて

(第4回有識者会議資料より抜粋)

今後のスケジュール

現在のサンドームについては、共同経営・統合新病院に係る基本計画（令和7年3月策定）において、「サンドームの代替施設が完成・移転後に解体工事に着手することとし、跡地には来院者用立体駐車場を整備」することとしています。

統合新病院の整備スケジュールによると、令和12年4月には解体工事に着手する必要があることから、(仮称)新青森市屋内グラウンドは令和12年4月の開館を目指します。



(仮称)新青森市屋内グラウンド整備

5. 整備手法について

(第4回有識者会議資料より抜粋)

(1) 想定する整備手法

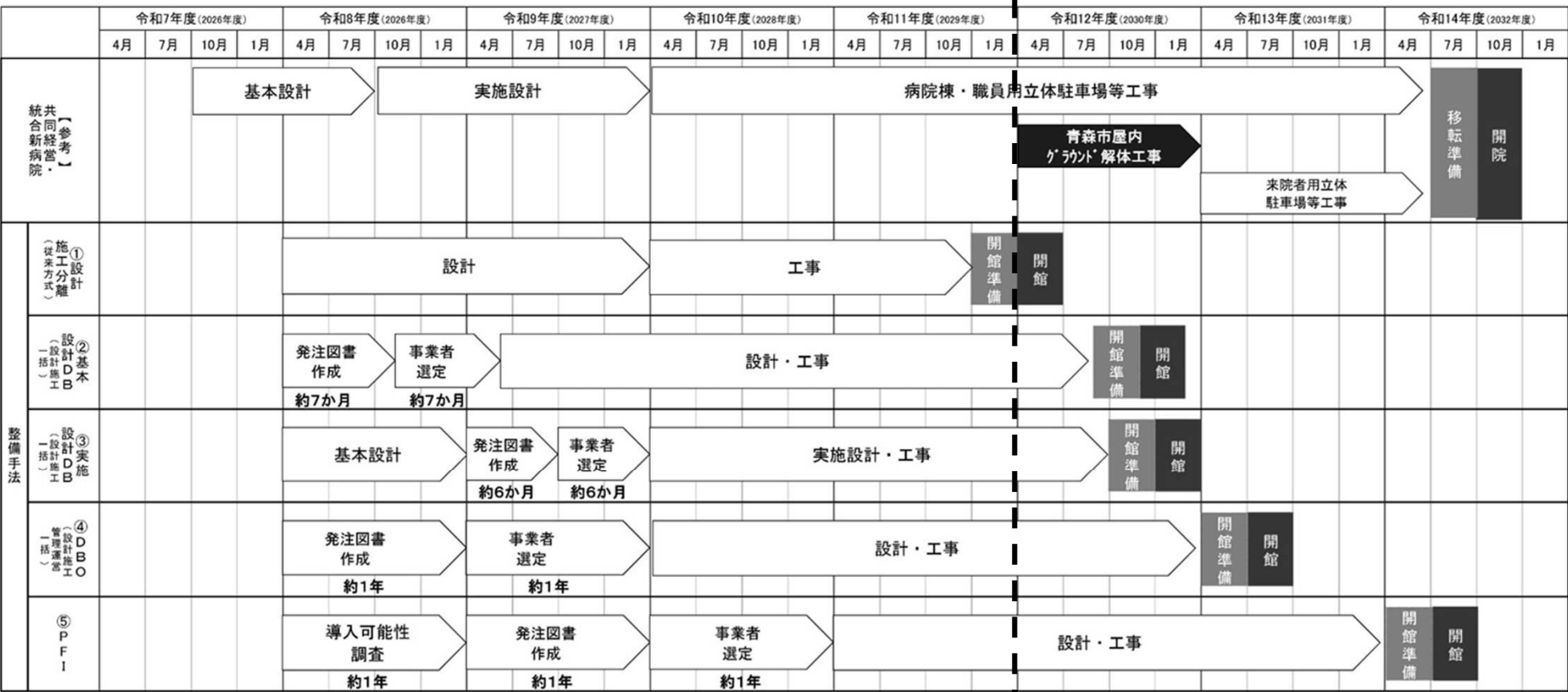
整備手法として、設計・施工を分離して発注する従来手法や民間事業者による提案や運営手法等を生かすことができる官民連携手法(DB、DBO、PFI等)が想定されます。

本市及び他都市の類似施設等の整備事例を参考に、本事業の整備手法を以下のとおり想定しました。

(整備手法の概要)

整備手法	概要
①設計施工分離 (従来方式)	設計を設計事務所に発注し、仕様等を確定した実施設計図書に基づき、建設工事を建設会社に発注する従来の方式。
②基本設計DB (設計施工一括)	施設に求める機能・性能等をまとめた要求水準に基づき、設計と建設工事を設計事務所・建設会社に発注する方式。
③実施設計DB (設計施工一括)	基本設計を設計事務所に発注し、基本設計図書等と施設に求める機能・性能等をまとめた要求水準に基づき、実施設計と建設工事を建設会社に発注する方式。
④DBO (設計施工 管理運営一括)	施設に求める機能・性能・管理・運営等をまとめた要求水準に基づき、設計、建設工事、維持管理、運営を設計事務所・建設会社・管理会社・運営会社に発注する方式。
⑤PFI	施設に求める機能・性能等をまとめた要求水準書に基づき、設計・建設工事(・維持管理・運営)をPFI事業者(民間企業のコンソーシアム)に発注する方式。 ※ 資金調達はPFI事業者(民間)が行う。

(2)各整備手法の想定スケジュール



※本市及び他都市の様々な施設の事例を参考にスケジュールを想定

(3)検討結果

本事業の整備手法は、令和12年4月の開館を目指して設計施工分離(従来方式)を基本とします。

ただし、共同経営・統合新病院の整備スケジュール等を踏まえ、必要に応じて調整を行うこととします。

なお、開館後の管理・運営については、効率的かつ効果的に質の高い公共サービス提供を図るため、民間活力の導入を検討します。

